

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和6年度）

基本方針	9.誰もが主体的に参画する市民協働の深化
基本施策	9-2.まちづくりで広がる市民協働の深化
関連するプロジェクト	9.市民が創る・まち育てプロジェクト

市民自らが地域社会に関心を持ち、自らできることを考え、行動するとともに、市民活動に関する理解を深め、進んで協力する市民協働のまちづくりの深化を目指して、地域づくりを担うリーダー育成、地域計画の実現への支援、市民自治のさらなる推進を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

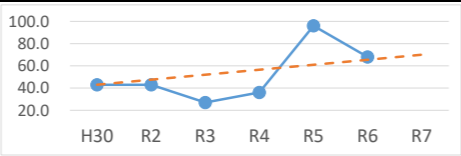
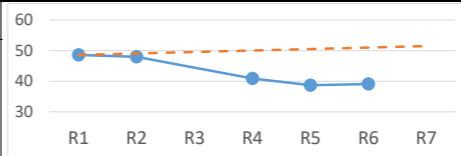
総合評価
B

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
20

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	まち づく り部	●	協働の定 着と拡充	協働により事業の改善が図られる案件について、具体的な取組みの方法を研究し、関係部署との連携を図るとともに、協働手法のメリットを市民・行政・企業が共有できるよう、情報提供を行い、協働のマッチングを進める。	②	指標に基 づく事 実	地域活動等に参加している市民の割合は前回調査と比較して0.4ポイント増加した。	B	指標に 関する 内 容	・市民活動情報センターニュースを毎月発行し、市民活動に関する情報を発信した。 ・協働のまちづくりを浸透させるため、市職員研修を実施した。	指標に 関する 内 容	自治会によっては、賃貸住宅の居住者に対して自治会加入を勧誘しないところもある。	◇多様な主体による協働のマッチングを推進するため、市民活動情報センターのコーディネーター活動を強化する。 ◇庁内協働を推進するため、部課をこえて連携する機会を増やす。 ◇多様な分野で活動する市民活動団体、企業等が出会いつながりをつくる場として、まちづくりマッチングフェアを開催する。 ◆市内で個々に活動するまちづくりのプレイヤーが、出会い、有機的な関係性をつくることができるネットワークをつくる。 ◆企業褒賞制度の後継事業である、「まちづくりコラボ・アワード」を隔年開催する。 ◆関心層の個人が、市民活動と関わる入口づくりに取り組む。
						指標以外 の事 実	協働や市民活動に活かせる情報発信と、市民活動団体や地域づくり組織、NPO法人等へのまちづくりの相談、支援等を行い、協働の推進を図ったことで、相談対応・企画支援件数48件増(R5年度66件→R6年度114件)、協働マッチング件数は2件減少(R5年度7件→R6年度5件)、地域づくり組織支援件数45件減(R5年度202件→R6年度157件)		(B)	指標以外 の 内 容	・市民活動情報センターで、地域活動、市民活動、企業の社会貢献活動のマッチングを行った。 ・企業が行う地域貢献活動について広報やホームページで情報提供を行った。 ・分野を横断した協働を推進するために、まちづくりマッチングフェアを初開催した。 ・R6より地域計画の見直し支援を行ったため、1件あたりの支援時間が長く、全体の支援件数としては減少している。	指標以外 の 内 容	
2	まち づく り部	●	まちづく りをリー ドする人 材の育成	新しい担い手を育成するため、一般向けの勉強会を開催し地域づくりへの多様な参加を促進するとともに、市内の高等学校等と連携した人材育成事業を実施し、次世代の担い手育成を継続して支援する。	①	指標に基 づく事 実	昨年度より実施している「おとなゼミ」について、参加者延べ人数については28名減(R5年度96名、R6年度68名)となっているが、手法の変更により、開催回数(総講座数)の減少が要因である。	B	指標に 関する 内 容	・20～40代の移住者、新たなつながりをつくりたい人、自分活動を始めたい人をターゲットとし、参加者同士の関係性づくりを大事にしたプログラムを実施した。 ・延べ人数は減ったが1回あたりの参加者が増え、ターゲットやプログラムの見直しが功を奏している。	指標に 関する 内 容	個人の働き方、生活スタイルの変化といった多様化が進み、地域活動に関する関心の変動といった環境も変わってきていることが影響している。従来よりも「おとなゼミ」で扱うプログラムに対する参加者のニーズにばらつきがみられることも要因とみられる。	◇大人の放課後ゼミナール閉講後も、参加者同士のコミュニティが継続されるための支援を行う。 ◇学びが活動や事業につながるしくみづくりに取り組む。 ◇新たに社会的な事業や活動に取り組む人や組織を支援するため、地域づくり課職員のコーディネート力のスキルアップに取り組む。 ◇地域おこし協力隊制度を活用し、地域学び合いPBL(プロジェクトベースドラニング)推進事業を開始する。 ◆高校生をターゲットとして、若者が身近なまちづくりに参画できる場づくりやコミュニティづくりに取り組む。 ◆協働のまちづくりにおける人材育成と、社会教育としての若者支援に一体的に取り組む施策の検討を行う。
						指標以外 の事 実	高校の探究学習と連携を図ることで、次世代の人材育成支援を行った。		(B)	指標以外 の 内 容	・専北高校の探究学習に、市職員を派遣した。 ・専北高校のプロジェクトベースドラニングのプログラムづくりに取り組んだ。	指標以外 の 内 容	
3	まち づく り部	●	地域づく り組織の マネジメ ント力強 化	地域づくり組織の実務的な業務の支援を継続的に行うとともに、地域経営力を向上するための研修を実施する。また、地域づくり組織と市が協働で行っている地域づくり政策について、定期的に検証し、必要な改善を行う。	未設定	指標に基 づく事 実		B	指標に 関する 内 容		指標に 関する 内 容		◇地域づくり組織運営アドバイザー設置事業として、社労士に業務委託し労務管理の相談対応を継続して実施する。 ◇地域計画の中間見直しを、地域づくり組織の課題解決の機会と捉え、各地区の課題に応じた伴走支援を市及び市民活動情報センターが行う。 ◇自治会運営支援のために、自治会運営ハンドブックと自治会加入促進チラシを作成した。 ◇自治会運営の課題を明らかにし、地域づくり組織と市が連携した自治会運営の支援策を検討する。 ◇住民同士の話し合いにより地域づくりを推進する環境づくりのため、市政座談会の実施手法を対話型に変更した。 ◇人口減少が進む和賀・川東地域における課題解決に取り組むため、集落支援員を配置する。 ◆R7年度に検討した自治会支援策を具体化する。 ◆交流センター化(H18～)から20年経過することを節目と捉え、現状の地域づくり及び社会教育施策の評価、地域社会の変化に応じた今後の施策の方向性の検討を行う。
						指標以外 の事 実	地域経営力を向上するための研修を開催し、地域づくり組織の役員及び職員の運営支援を行った。		(B)	指標以外 の 内 容	・地域づくり組織向けの研修会とワークショップを3回実施し、地域経営力を向上させた。 ・市民向けの地域づくり講演会を1回開催した。 ・地域づくり組織や自治会から寄せられる個別相談に、随時対応を行うことで、地域経営のサポートを行った。	指標以外 の 内 容	

凡例 ●実績値 — 期待値

指 標 ①		指標の説明								指 標 ②		指標の説明								指 標 ③		指標の説明									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
まちづくり部	人	実績値	43.0	43.0	27.0	36.0	96.0	68.0		まちづくり部	%	実績値	48.6	48.0		40.9	38.7	39.1				実績値									
		期待値 ※R7は目標値	43.0	47.5	52.0	56.5	61.0	65.5	70.0			期待値 ※R7は目標値	48.6	49.1	49.6	50.1	50.5	51.0	51.5			期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考	H30		未実施								備 考								
指 標 ④		指標の説明								指 標 ⑤		指標の説明								指 標 ⑥		指標の説明									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									
指 標 ⑦		指標の説明								指 標 ⑧		指標の説明								指 標 ⑨		指標の説明									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									
指 標 ⑩		指標の説明								指 標 ⑪		指標の説明								指 標 ⑫		指標の説明									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									
指 標 ⑬		指標の説明								指 標 ⑭		指標の説明								指 標 ⑮		指標の説明									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
		実績値										実績値										実績値									
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値									
		備 考										備 考										備 考									